

卒後教育委員会

卒後委員会のメンバー(2006年3月1日現在)は、診療部から西野、不動寺、加納、高橋、橋本、平田、高梨、清水、池谷、岡田、小石川、レジデント代表、副代表、看護部から渡邊、薬剤部から佐々木、木更津病院から渡辺、オブザーバーとして、隆明、信介、省吾、夏目である。原則として隔月開催され、次のような範囲の問題が討議された。

- 1)初期研修医の募集、採用、ローテーション
- 2)後期研修カリキュラムの確立、発展
- 3)FD

卒後教育委員会のメンバーについては、新臨床研修制度の導入に伴い、厚労省の基準を満たす形の委員会とした。卒後教育委員会が大人数となったこと、卒後教育委員会の扱う内容に広がりが見られたことなどから、下部組織としての小委員会を充実した。従来から存在した、内科系後期研修小委員会(委員長 橋本)、外科系後期研修小委員会(委員長 加納)に加えて、女性のための小委員会(委員長 清水)、FD小委員会(委員長 星)を設けた。

委員長：西野洋